



全国学力・学習状況調査の結果報告

1 「全国学力・学習状況調査」の目的

全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童生徒の学力・学習状況を把握・分析することにより、教育指導や学習の改善等に役立てる。

2 調査内容

- (1) 教科に関する調査（国語・算数）
 - A問題（主として知識に関する問題）
 - B問題（主として活用に関する問題）
- (2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

3 調査結果について

(1) 国語科

国語 A

領域	平均正答率(%)		
	全国	県	井口小
話す・聞く	76.1	79.1	84.4
書くこと	53.3	55.6	63.8
読むこと	44.5	46.2	50.0
言語事項	65.2	67.4	73.0

A問題は4領域全てにおいて全国・広島県の正答率を上回っています。特に「書くこと」の領域は、大きく上回っています。これは、自分の考えを書いたり要点をまとめたりする活動を積み重ねてきた成果の表れだと考えます。

国語 B

領域	平均正答率(%)		
	全国	県	井口小
話す・聞く	73.0	76.1	82.4
書くこと	49.1	52.2	57.9
読むこと	48.3	50.7	58.3
言語事項	-	-	-

B問題も4領域全てにおいて全国・広島県を上回っています。これは、国語科や総合的な学習の時間を使い、文章の内容を分析・比較し発表する活動を取り入れてきたことで、学んだことを実生活の様々な場面で活用できているからだと考えます。

日記，作文，感想文等，各活動を積極的に取り入れています。「書く」ことは「考える」ことであり，今後も書くことの指導を進めていきます。また，国語辞典等を利用する習慣や日頃から漢字を使う指導を行っていきます。授業で意見を交流し合うことにより，相手の話をよく聞いて理解し，自分の考えをさらに深めたり，表現力を高めたりしていきます。

(2) 算数科

算数 A

領域	平均正答率(%)		
	全国	県	井口小
数と計算	76.8	77.7	83.8
量と測定	56.2	57.4	61.9
図形	72.7	77.2	86.7
数量関係	72.4	76.8	83.5

A問題は4領域全てにおいて全国・広島県の正答率を上回っています。これは，基礎的・基本的な知識・技術の定着に低学年から取り組んできた成果だと考えます。しかし，「量と測定」領域の重さの感覚の設問では，わずかに広島県の正答率を下回りました。

算数 B

領域	平均正答率(%)		
	全国	県	井口小
数と計算	65.2	65.7	69.6
量と測定	53.3	57.3	65.6
図形	61.2	64.3	72.4
数量関係	44.9	46.6	53.6

B問題は4領域では全ての設問において全国・広島市を上回っています。これは，算数科のみならず，総合的な学習の時間で，資料の読み取り・まとめ・発表の学習を継続してきたことで，論理的思考力が付いてきているからだと考えます。

本時のめあてを確認し，児童一人一人が自分の目標をもち，じっくりと考える時間を確保しながら，きめ細かい指導に努めています。重さの感覚については，量の大きさの見当づけや適切な単位の指導を随時行い，量の大きさについての感覚を豊かにしていきます。また，算数的活動を取り入れることにより，関心を高め，目的意識を持って主体的に解決したり，自分の考えを友達と交流し合ったりすることで，学び合う楽しさへと発展させていきます。